

議員提出議案第7号

新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

令和4年(2022年)6月24日

提出者 八王子市議会議員 福 安 徹

賛成者 八王子市議会議員 星 野 直 美

同 前 田 佳 子

同 安 藤 修 三

同 鈴 木 玲 央

同 村 松 徹

八王子市議会議長

吉 本 孝 良 殿

新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が起きてから、2年以上が経過している。

この間、ワクチン接種をはじめ、感染拡大防止策に対する経済支援、学校教育におけるGIGAスクールによる新たな教育環境の整備、テレワークの推進などによる新たな日常の取組など、様々な施策が実施され、市民においても新たな日常が定着している。

それと同時に、製薬会社などにおいては飲み薬の開発や、様々なエビデンスを集めることにより、新型コロナウイルス感染症に対し、確かな知識のもと、経済活動などを再開させつつある。

このような状況下にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の感染症分類についての検討は遅々として進まず、濃厚接触者の定義においても当初と大きな変化が見られていない。

今後、国としては、ウィズコロナ、アフターコロナの支援として経済対策をはじめとした新たな段階へと変わらなければならない時と考える。

よって、八王子市議会は、政府に対し、新型コロナウイルス感染症に対する制限緩和について、下記のとおり求めるものである。

記

1. 新型コロナウイルス感染症に対して治療薬となる国産薬の承認を速やかに行うとともに、ワクチンの複数回接種者が大幅に増加し、集団免疫獲得が予見される場合において、現在の感染症分類に関して適切な見直しを行うこと。
2. 変異株により、濃厚接触者の定義に関して、各自治体や受診する医療機関による対応が異なることから、変異株の状況に応じて濃厚接触者の定義を適宜見直すとともに、感染力によっては定義の緩和を行うこと。
3. 新型コロナウイルス病床の確保により、一般救急患者の受け入れが困難となっている状況を改善するように、感染者数に対して柔軟なベッドコントロールをすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年(2022年)6月24日

議長 名

内閣総理大臣
総務大臣
厚生労働大臣

} あて